

# 大会第1日〔10月14日（日）〕 9:30～12:30 口頭発表

## A 会場

### 気候システム I

座長：尾瀬 智昭（気象研）

- A101 力石 國男（弘前大理工）北日本に豪雪・寡雪をもたらす北半球の大気循環
- A102 本田 明治（FRCGC）夏季から秋季の北極域海氷面積変動が冬季極東域の天候に及ぼす影響
- A103 伊藤 久徳（九大院理）冬季北半球の独立成分：北極振動は独立成分か？
- A104 田中 博（筑波大計算科学）ポーラージェットの傾圧不安定波と亜熱帯ジェットの傾圧不安定波
- A105 麻生 祥仁（九大院理）中立特異モードによるNAO/PNAと成層圏卓越変動の励起メカニズム
- A106 山下 陽介（東大気候システム）成層圏の環状モードに関連した対流圏の波の強制力の太陽活動に伴う変調
- A107 黒田 友二（気象研）南半球冬季における太陽活動の上下結合に及ぼす影響
- A108 小坂 洋介（東大院理）PJパターンの力学モード性
- A109 井上 誠（東大気候システム）夏季アジアモンスーンに伴う対流圏—成層圏循環の変動（3）
- A110 Htway, Ohnmar（東大）Interannual variations of summer monsoon onset over Myanmar
- A111 陳 桂興（東北大院理）Seasonal Variations of Diurnal Rainfall in Southern China and its Surrounding
- A112 横井 寛（東大院理）インドシナ半島東岸での豪雨時における総観規模的特徴
- A113 伍 培明（IORGC）赤道越え冬季アジアモンスーンによるジャカルタ豪雨
- A114 鳥居 司（愛知教育大院）冬季における亜熱帯高圧帯領域と西太平洋SSTとの関係
- A115 荒井 美紀（東大気候システム）アジアモンスーン域夏季降水に対するエアロゾルの影響
- A116 植田 宏昭（IPRC/University of Hawaii）モンスーンの形成における陸面と海洋の寄与の定量化
- A117 尾瀬 智昭（気象研）夏季東アジアにおけるエルニーニョの影響の結合モデルによる再現性
- A118 荒川 理（気象研）気候モデルで再現されたアジアモンスーン地域における降水量と地形との関係
- A119 二宮 洗三（FRCGC）大気大循環モデルで再現された南太平洋収束帯（SPCZ）[OHP使用予定]

# 大会第1日〔10月14日（日）〕 9:30～12:30 口頭発表

## B 会場

### 熱帯大気

座長：山田 広幸 (IORGC)

- B101 寺尾 徹 (香川大教育) インド亜大陸東北部における観測的研究プロジェクトの進展
- B102 木口 雅司 (東大生産研) インド亜大陸東北部におけるプレモンスーン期の降水現象
- B103 山根 悠介 (京大次世代ユニット) バングラデシュにおけるシビアローカルストーム発生日の大気環境について
- B104 Islam, Md. Nzrul (名大地球水循環) An analysis to classify pre-monsoon and monsoon rainfall in and around Bangladesh using TRMM 2A25 data
- B105 江口 菜穂 (環境研) 2007年夏季バングラディッシュ上空における水蒸気変動について
- B106 村田 文絵 (高知大理) ダッカにおけるモンスーン低気圧に関する観測・解析
- B107 Rafi, Uddin Md. (名大地球水循環) Characteristics of monsoon precipitation systems in Bangladesh during 2000-2005
- B108 田畑 悦和 (京大生存研) ウィンドプロファイラー観測に基づくインドネシア海洋大陸域における超雲団変調の様相
- B109 森 修一 (IORGC) スマトラ島沿岸域における対流系の日周期移動および海上における再発達について－HARIMAU2006観測結果－
- B110 櫻井 南海子 (IORGC) インドネシア・スマトラ島におけるHARIMAU2007集中観測結果
- B111 山本 真之 (京大生存研) インドネシア・スマトラ島における下部対流圏の風速変動－赤道大気レーダーとNCEP/NCAR再解析データの比較－

座長：寺尾 徹 (香川大教育)

- B112 牛山 朋来 (IORGC) パラオ周辺で観測された積雲対流の日周期から2日周期への変遷
- B113 宮川 知己 (東大気候システム) MISMOのドップラーレーダーによって観測されたスコールラインの特徴
- B114 山田 広幸 (IORGC) 熱帯インド洋の対流活性期に東へ伝播する降水システムの観測
- B115 増永 浩彦 (名大地球水循環) 大規模赤道波に伴う対流システム発達過程の観測的研究
- B116 安永 数明 (IORGC) 全球雲解像モデルNICAMによる水惑星実験で再現された降水の半日周期
- B117 那須野 智江 (FRCGC) 全球非静力学モデルを用いたMadden-Julian Oscillation再現実験
- B118 谷口 博 (京大防災研) 熱帯域季節内振動の活動度と予測可能性との関係
- B119 佐藤 尚毅 (IORGC) IPCC AR4気候モデルにおける、MJOに伴う下層の力学、熱力学場の再現性

# 大会第1日〔10月14日（日）〕 9:30～12:30 口頭発表

## C 会場

### 降水システム I

座長：折笠 成宏（気象研）

- C101 越田 智喜（いであ）人工降雨による洪水被害軽減の可能性の調査
- C102 橋本 明弘（気象研）人工降雪のためのシーディング有効雲に関する雲解像モデル結果を用いた統計解析
- C103 山下 克也（気象研）詳細雲微物理モデルとMRI雲生成チェンバー実験による雲粒生成過程の比較
- C104 田尻 拓也（気象研）MRI雲生成チェンバーによる雲物理実験－混合雲における氷晶発生過程について－
- C105 折笠 成宏（気象研）航空機による山岳性降雪雲の直接観測－雲の相からみた統計的特徴－
- C106 村上 正隆（気象研）シーディングに適した雲（有効雲）の定量的評価法－2Dモデルの結果を用いて－
- C107 岩波 越（防災科研）Xバンド偏波レーダーによる降水粒子判別（2）－ファジーロジックによる冬季雲内の粒子判別－
- C108 小西 啓之（大阪教育大）光学式センサーを用いた雨滴の粒径と落下速度の観測
- C109 岸 豊久（京大生存研）MUレーダーとレイリー／ラマンライダーによる中緯度域の巻雲観測
- C110 佐藤 可織（東北大院理）船舶搭載能動型測器と衛星観測データによる気象場、放射場と上層雲の巨視的構造・微物理特性の解析
- C111 岡本 創（東北大院理）「みらい」MR06-05航海における船舶搭載雲レーダ・ライダー, CloudSAT・CALIPSO, SPRINTARSによる雲鉛直特性の比較解析
- C112 増子 直樹（東北大院理）アクティブセンサーと雲微物理パーセルモデルを用いた下層雲の再現実験
- C113 青梨 和正（気象研）衛星搭載マイクロ波放射計AMSRE降水強度リトリバルアルゴリズムの開発（その6）
- C114 久保田 拓志（JST）衛星搭載マイクロ波放射計の降水リトリバルにおける降水非一様性の影響
- C115 可知 美佐子（JAXA/EORC）衛星による高頻度全球降水プロダクトの準リアルタイム配信に向けて
- C116 重 尚一（大阪府大院工）TRMM PR データからの潜熱加熱プロファイルのスペクトル推定：2次元および3次元モデルから作成された参照テーブルの比較

# 大会第1日〔10月14日（日）〕 9:30～12:30 口頭発表

## D 会場

### 大気境界層

座長：大橋 唯太（岡山理大総合情報）

- D101 酒井 敏（京大院人間環境）境界層研究のための単指向性赤外放射計
- D102 岩井 宏徳（NICT）仙台空港におけるデュアルドップラーライダーによる大気境界層内風観測
- D103 青柳 暁典（気象研）JMANHM用単層都市キャノピースキームの改良と放射収支に関する検討
- D104 清野 直子（気象研）単層都市キャノピースキームを用いたJMANHMによる都市気象シミュレーションの試み
- D105 佐藤 大樹（大成建設）数値解析による海風進入予測とその阻害要因に関する運動エネルギー収支分析（その1）数値予測結果と分析手法の概要
- D106 大岡 龍三（東大生産研）数値解析による海風進入予測とその阻害要因に関する運動エネルギー収支分析（その2）海風の進入経路に沿った流体塊の平均運動エネルギー収支
- D107 Khien, Mai（東大生産研）Numerical Simulation of Atmospheric Pollution over Kanto area using the MM5/CMAQ Model “Simulation of ozone concentration between two different weather days”
- D108 余 偉明（東北大院理）A Comparison of Numerical Simulation and Wind Tunnel Experiment on Unstable Stratified Flow within and above a Modeled Urban Canopy（2）
- D109 大泉 三津夫（気象研）JMANHMによる関東平野の積雪再現実験 - 解像度の影響と下層大気の後方流跡線の特性 -
- D110 北村 祐二（気象研）LESにおけるパラメタリゼーションスキームの相互比較

座長：清野 直子（気象研）

- D111 吉田 龍平（東北大院理）陸面過程モデル2LMを用いた潜在的応答特性の検証
- D112 重田 祥範（岡山大院自然）季節変化に伴うヒートアイランド強度の時空間的特徴 - 岡山平野の広域的な細密調査 -
- D113 重田 祥範（岡山大院自然）都市域のヒートアイランド現象が植物季節に与える影響 - 岡山平野におけるソメイヨシノの開花を例として -
- D114 大橋 唯太（岡山理大総合情報）様々な日常活動空間における熱中症指標WBGTの観測 - 岡山市街地を対象にして -
- D115 千葉 晃（亜細亜大教養）サマータイムが実施された場合の東京（大手町）における夕方の気温と「明るさ」の評価
- D116 大西 将徳（京大院人間環境）日本列島上空の収束・発散場とその現象論的解釈
- D117 大西 将徳（京大院人間環境）線形理論を用いた日周期収束・発散場の力学の解明
- D118 藤吉 康志（北大低温研）大気構造が夜間の鳥の飛び立ちと飛行高度に及ぼす影響（1）
- D119 木下 正博（富山県総合教育センター）富山湾における蜃気楼の発生理由 IX ～ 入善町・朝日町・新潟県親不知沖の海上に存在する上暖下冷の空気層 ～

# 大会第2日〔10月15日（月）〕 9:15～12:00 口頭発表

## A 会場

### 気候システムII

座長：鬼頭 昭雄（気象研）

- A201 吉森 正和（東大気候システム）氷期と現在気候での淡水流入に対する熱輸送応答の比較
- A202 村上 茂教（FRCGC）ハドレー循環の強度とエネルギー輸送 ―氷期気候系を例として―
- A203 大垣内 るみ（FRCGC）完新世中期シミュレーションにおけるアジアモンスーン強化と現在気候シミュレーションの海面水温バイアスの相関
- A204 新村 周平（名大院環境）降水観測データによる気候モデル降水量の再現性
- A205 楠 昌司（気象研）大気海洋結合モデルによる梅雨期の降水強度の再現性
- A206 野沢 徹（環境研）人為起源の温室効果ガス増加による20世紀の昇温量推定に及ぼす炭素性エアロゾル増加の影響
- A207 對馬 洋子（FRCGC）IPCC-AR420世紀再現実験における各国モデルの太陽入射光のばらつきについて
- A208 阿部 学（環境研）パーフェクトモデルテストによる気候変化予測と現在気候再現性の関係の評価
- A209 塩竈 秀夫（環境研）地球温暖化による降水量変化予測の排出シナリオ依存性
- A210 江守 正多（環境研/FRCGC/東大気候システム）2030年までの確率的気候変化予測に向けて 第2報―降水量変化
- A211 上口 賢治（気象研）高解像度全球モデルを用いた、地球温暖化に伴う河川流量の将来変化
- A212 岩崎 俊樹（東北大院理）地球温暖化が大規模大気波動形成に与える影響
- A213 長谷川 聡（環境研）水惑星実験におけるSSTとCO<sub>2</sub>濃度の変化による降水の力学・熱力学的変化
- A214 千喜良 稔（FRCGC）MIROC3.2への改良型Mellor-Yamadaスキームの導入
- A215 渡部 雅浩（北大院地球環境）CCSR/NIES/FRCGC AGCMにおけるPDF予報型雲スキームの開発
- A216 馬場 賢治（札幌光星高）高校生の地球温暖化に関する意識について
- A217 槌田 敦（所属なし）CO<sub>2</sub>温暖化説は間違っている [OHP使用予定]

# 大会第2日〔10月15日（月）〕 9:15～12:00 口頭発表

## B 会場

### 気象予報

座長：宮本 健吾（AESTO/気象庁数値予報）

- B201 彭 新東（地球シミュレータ）全球非静力モデルMSSGとマルチスケールシミュレーション
- B202 山崎 弘恵（京大院理）Shaved Cell法によるz座標系高解像度非静力学モデルの開発
- B203 荒波 恒平（気象庁数値予報）高分解能局地モデルの開発
- B204 原 旅人（気象庁数値予報）気象庁非静力学モデルにおける改良 Mellor-Yamada Level 3スキームの特性
- B205 斉藤 和雄（気象研）WWRP北京2008予報実証/研究開発プロジェクト（その2 2007年予備実験概要）
- B206 原 昌弘（気象研）平成19年7月九州豪雨のメソアンサンブル予報実験（全球湿潤ターゲットSVを用いたNHMによるダウンスケール予報実験 その2）
- B207 野村 俊夫（岐阜大院工）降水量予測精度の向上のためのメソ気象モデル入力初期値に関する検討
- B208 中村 誠臣（気象研）解像度を変えた非静力学モデルによる夏季関東域での再現実験
- B209 及川 博史（JAXA）十勝平野における下層不安定域の検証
- B210 稲葉 守生（気象研）全球大気モデルを用いた2005年12月予報場の大気初期値に伴う変動
- B211 宮本 健吾（AESTO/気象庁数値予報）JMA-GSMの湿潤過程の特性に関する調査
- B212 小森 拓也（気象庁数値予報）20km全球モデルの湿潤過程開発と台風予報
- B213 小森 拓也（気象庁数値予報）アンサンブル台風進路予報に対するクラスター解析手法の開発 ～ 週間アンサンブル予報の利用例 ～
- B214 近藤 圭一（筑波大院生命環境）順圧大気大循環モデルを用いたEKFとEnKFの比較実験
- B215 三好 建正（気象庁数値予報）LETKFにおける衛星放射輝度観測データの最適バイアス補正法
- B216 瀬古 弘（気象研）COSMIC衛星の掩蔽データを用いた同化実験

# 大会第2日〔10月15日（月）〕 9:15～12:00 口頭発表

## C 会場

### 降水システムII

座長：安永 数明 (IORGC)

- C201 大竹 秀明 (北大院地球環境) 日本海北部に発生する太い筋雲の維持過程
- C202 大東 忠保 (名大地球水循環) 上層寒気核の通過に伴い変動する日本海寒帯気団収束帯の力学過程
- C203 東 邦昭 (神戸大院自然) 近畿地方における線状降水帯の組織化 - 徳島小低気圧の存在 -
- C204 用貝 敏郎 (気象庁予報) 2006年7月18日から24日にかけて九州中・南部で発生した記録的豪雨 その2 - 鹿児島/市来のウィンドプロファイラ (WPR) で観測された梅雨ジェット (BJ) と豪雨との関係 -
- C205 川島 正行 (北大低温研) 寒冷前線降雨帯のコア-ギャップ構造の成因に関する数値実験 (2)
- C206 羽賀 泰之 (岡山大教育) 梅雨期の九州における降水の日変化とその時の総観規模でみた基本場について
- C207 加藤 内藏進 (岡山大教育) 地上梅雨前線の暖域に見られる九州での降水 (1997～2005年の解析)
- C208 渡邊 明 (福島大理工) 梅雨前線に伴うバンド状降水システムの構造
- C209 竹見 哲也 (京大防災研) 北陸地方における梅雨期の集中豪雨と環境の安定度
- C210 尾上 万里子 (名大地球水循環) 梅雨前線帯における対流セルの偏波パラメータと地上雨滴粒径分布の特徴
- C211 加藤 輝之 (気象研) 2007年5-7月の九州・四国地方における浮力がなくなる高度と雲解像モデルが予想した雲頂高度との関係
- C212 安永 数明 (IORGC) 融解過程による積雲対流の成長抑制
- C213 井口 享道 (東大気候システム) 数値実験から予想される雲凝結核数に対する雲降水システムを介しての雲頂高度・降水量の感度
- C214 今井 真希 (防衛大地球海洋) 2004年夏季晴天時南関東におけるファーストエコーの出現特性
- C215 林 修吾 (気象研) 梅雨期の落雷観測と1km-NHMが再現した雲の統計的特徴との比較 (2007梅雨)
- C216 吉田 暁洋 (東北大院理) ISUAL及びELFネットワーク観測に基づく落雷及びスプライト発生率の地域季節変動

# 大会第2日〔10月15日（月）〕 9:15～12:00 口頭発表

## D 会場

### エアロゾル

座長：渡辺 幸一（富山県立大短大部）

- D201 河本 和明（長崎大環境科学）1990年前後の東欧の排出量変動と雲・エアロゾル場への影響
- D202 三井 達也（東大気候システム）エアロゾル輸送過程を取り入れた全球雲解像モデルを用いた熱帯大西  
洋上での雲放射強制力の見積り
- D203 五藤 大輔（東大気候システム）GCMを用いたエアロゾルの吸湿性に関する感度実験
- D204 竹村 俊彦（九大応力研）全球エアロゾル予報システムの開発
- D205 青木 一真（富山大院理工）1997年～2007年の札幌上空のエアロゾルの光学的特性
- D206 Khatri, Pradeep（愛知学院大）Retrievals of density and refractive index of dry aerosols from aerosol optical  
parameters measured in an urban atmosphere of Nagoya
- D207 白岩 学（東大先端研）アジア大陸起源空気塊中の単一ブラックカーボン粒子の混合状態の測定
- D208 兼保 直樹（産総研）アジア太平洋岸における硫酸塩エアロゾルの粒径分布
- D209 三上 正男（気象研）オーストラリア休耕地で観測された非一様飛砂飛散過程と臨界摩擦速度
- D210 渡辺 雅倫（東大先端研）中国広州におけるエアロゾル化学組成の高時間分解能測定：PAHと鉛のm/z  
信号を用いた発生源解析
- D211 酒井 哲（気象研）気球を用いた黄砂エアロゾルと上層雲の観測－エアロゾルゾンデデータから得ら  
れた特徴－
- D212 渡辺 幸一（富山県立大短大部）立山・室堂平における霧水中の化学成分－越境汚染物質とバックグラ  
ウン黄砂の影響－
- D213 山本 直子（鳥取大院農）総観場から見た黄砂観測の特徴と経年変化の周期的変動に関する研究
- D214 安成 哲平（北大院地球環境）黄砂と成層圏－対流圏輸送の同時発生、及びその空気塊のアラスカ・ラ  
ンゲル山への輸送：2001年4月の事例解析
- D215 張 代州（熊本県立大環境共生）鉍物粒子の水蒸気吸収特徴のESEMによる研究
- D216 直江 寛明（気象研）海塩エアロゾルが液相化学反応によって変質するメカニズム
- D217 鶴田 治雄（東大気候システム）奄美大島における春期の大気エアロゾルの単一散乱アルベドとその制  
御要因



# 大会第2日〔10月15日（月）〕 13:00～15:30 口頭発表

## A 会場

### スペシャルセッション「産業と気象 ～気象情報・技術の産業への寄与を考える～」

座長：酒井 重典（気象予報士会）

- A251 村山 貢司（気象業務支援センター）経済と気象情報の利用
- A252 富山 芳幸（気象予報士会）電力需要予測に気温の確率予報を導入した場合のインパクト
- A253 知野 義美（JR北海道）ARISS総合防災システムについて
- A254 金子 和真（気象予報士）2002～2006年に発生した苫小牧沖上位層気楼に関する考察
- A255 木戸 和男（北海道立地質研究所）サロマ湖におけるシケの効用 一再懸濁による堆積物表層の上方輸送—
- A256 油津 雄夫（エコニクス）北海道森林・林業の気象被害
- A257 植野 玲一郎（道立上川農試/気象予報士会）北海道の野菜栽培における5、6月の晩霜被害
- A258 鮫島 良次（北海道農研）農作物の気象災害リスク情報
- A259 菅野 洋光（東北農研センター）気象予測データを用いた「いもち病発生予察プログラム—BLASTAM」の作成
- A260 濱寄 孝弘（北海道農研）冬期の低温を利用した寒締めホウレンソウ栽培
- A261 萱場 互起（札幌管区气象台）冷夏をもたらすオホーツク海高気圧と气象台が発表する情報について

大会第2日〔10月15日（月）〕 13:00～15:30 口頭発表

## B 会場

### 大気力学

座長：杉本 憲彦（名大院工）

- B251 山本 勝（九大応力研）金星型AGCMを用いた超回転の惑星軌道要素依存性の研究
- B252 福田 純也（九大院理）地球大気における自由振動の最適励起
- B253 寺崎 康児（筑波大院生命環境）鉛直波数領域における大気大循環のエネルギー収支解析
- B254 小玉 知央（東北大院理）水惑星条件における傾圧不安定波動に対するSST上昇の影響
- B255 吉崎 正憲（IORGC）スーパークラウドクラスターの東進のメカニズムについて（3）
- B256 伊賀 啓太（東大海洋研）弱いニュートン冷却を考慮した中間規模東進波
- B257 末吉 雅和（神戸大院理）一般化された2次元流体系における平行流の安定性
- B258 佐々木 俊輔（京大院理）回転球面上の減衰性2次元乱流から生じる西向き周極流の形成機構に関する考察
- B259 谷口 博（京大防災研）赤道 $\beta$ 平面浅水系の線形シア一流中で発生する「交差モード」の解釈
- B260 村上 振一郎（京大院理）f平面浅水系における孤立渦の線形安定性解析
- B261 柳野 健（気象研）最適アフィン変換されたローレンツ方程式による不動点近傍のカオス挙動について
- B262 松島 和宏（東海大地球環境）半球規模回転水槽実験に表れる惑星規模波動の特性
- B263 板野 稔久（防衛大地球海洋）特殊回転風洞におけるPIVを用いた竜巻状渦の流速解析

大会第2日〔10月15日（月）〕 13:00～15:30 口頭発表

C 会場

降水システムⅢ

座長：坪木 和久（名大地球水循環）

- C251 坪木 和久（名大地球水循環）冬季の寒冷前線に伴って発生した突風の雲解像モデルを用いたシミュレーション実験
- C252 吉田 聡（地球シミュレータ）佐呂間竜巻を伴った爆弾低気圧の予測可能性（その2）凝結スキームに対する感度実験
- C253 佐々 浩司（高知大理）佐呂間竜巻の地形効果に関する模擬実験
- C254 菅原 祐也（防衛大地球海洋）2007年5月31日富津市沖で発生した竜巻のドップラーレーダ観測
- C255 佐藤 晋介（NICT）偏波ドップラーレーダーで観測された複数のメソサイクロン
- C256 中里 真久（気象研）竜巻風速パラメータースーパーセル型竜巻の発生の可能性と接線風速の推定
- C257 楠 研一（気象研）小型ドップラー気象レーダーによる鉄道安全運行のための突風探知システムの基礎的研究－研究の概要－
- C258 楠 研一（気象研）メソ渦の存在を示唆するインナーコア周辺の地上風と気圧変動 II -眼の回転パターンとの関係-
- C259 宮本 佳明（京大防災研）発達した台風の構造に対する海面抵抗の影響
- C260 梅本 泰子（京大生存研）MUレーダーとWINDASを用いた台風0704号中心付近での風速変動
- C261 出世 ゆかり（NICT）COBRA観測による台風0704号の眼の壁雲の構造
- C262 西垣 語人（気象庁予報）気象衛星画像情報を使った台風の動態解析手法の開発
- C263 栗田 直幸（IORGC）水の大循環モデルを用いた大陸水循環研究
- C264 栗田 直幸（IORGC）熱帯インド洋上で対流活発期にみられた降水の再循環

# 大会第2日〔10月15日（月）〕 13:00～15:30 口頭発表

## D 会場

### 微量気体

座長：北 和之（茨城大理）

- D251 北 和之（茨城大理）高出力UV-LEDを用いたNO<sub>2</sub>光解離コンバーターの開発とフィールド試験
- D252 永島 達也（環境研）タグ付き輸送モデルを用いた日本における地表オゾンの発生源別寄与率推
- D253 川岸 諒子（奈良女子大理）オゾンゾンデ観測から得られた対流圏オゾンの解析 — 空気塊分類に基づく解析結果 —
- D254 秋吉 英治（環境研）下部成層圏の等価有効塩素濃度とオゾン全量の回復時期
- D255 須藤 健悟（名大院環境）全球オゾン分布変動の気候影響：化学気候モデルによる気候応答実験
- D256 杉田 考史（環境研）ILAS-IIによって観測された南極成層圏のPSCによる一時的な脱窒
- D257 石戸谷 重之（東北大院理）北極域航空機観測計画（Arctic Airborne Measurement Program 2002, AAMP02）において観測された極渦内下部成層圏における大気主要成分の重力分離
- D258 八代 尚（東北大院理）日本上空における対流圏CO濃度の時空間変動
- D259 桜井 秀宣（三重大院生物資源）海洋における一酸化炭素とメタンの動態について
- D260 中野 智子（首都大都市環境）半乾燥草原における光合成速度とその制御要因
- D261 高村 近子（東北大院理）冷温帯落葉広葉樹林における大気中CO<sub>2</sub>の $\delta^{18}\text{O}$ の日変動
- D262 井口 敬雄（京大防災研）陸上生態系モデルを用いたシミュレーションによるCO<sub>2</sub>フラックスとENSOの相関関係
- D263 小田 知宏（阪大院工）遺伝アルゴリズムを用いた地域スケールにおけるCO<sub>2</sub>ソース・シンク逆解析法の開発
- D264 美山 透（FRCGC）二酸化炭素濃度安定化への排出量準逆計算
- D265 Baron, Philippe（NICT）Study of the mid-troposphere to lower stratosphere humidity and trace gases remote sensing using satellite THz receiver

大会第3日〔10月16日（火）〕 9:15～11:30 口頭発表

A 会場

スペシャルセッション「静止衛星観測 I : 気象衛星ひまわりの30年」

座長 : 中澤 哲夫 (気象研)

- A301 高橋 清利 (気象研) GMS IR データによる西太平洋熱帯域における雲量トレンド
- A302 井上 豊志郎 (東大気候システム) 静止衛星による熱帯での深い対流雲の観測例
- A303 中澤 哲夫 (気象研) 東進するスーパークラスターの構造
- A304 別所 康太郎 (気象研) T-PARCにおけるMTSAT-2 Rapid Scanによる衛星風観測実験
- A305 三浦 恒人 (函館海洋気象台) 衛星データを用いた海洋・海上気象プロダクトの開発と利用
- A306 川村 宏 (東北大院理) Hot Event- An Organized Phenomenon with Very High Sea Surface Temperature in the Indo-Pacific Warm Pool
- A307 奥 勇一郎 (京大防災研) ひまわりによる地表面熱収支解析
- A308 奥山 新 (気象衛星センター) GMS-5/VISSRデータ再解析 ～再校正技術の開発～
- A309 福田 悟 (東大気候システム) GMS-5/VISSRデータ再解析～エアロゾル光学特性の推定～
- A310 竹中 栄晶 (千葉大CEReS) GMS-5/VISSRデータ再解析 ～放射収支の推定～
- A311 岡本 幸三 (気象庁数値予報) 静止気象衛星データの同化

大会第3日〔10月16日（火）〕 9:15～11:30 口頭発表

B 会場

スペシャルセッション「さまざまな対流」

座長：杉山 耕一朗（北大院理）

- B301 高木 征弘（東大院理）金星下層大気に鉛直対流は存在するか？
- B302 小高 正嗣（北大理）3次元非静力学モデルによる火星大気対流の数値計算
- B303 高橋 芳幸（神戸大院理）火星大気子午面循環の季節変化
- B304 杉山 耕一朗（北大院理）2次元対流モデルで明らかにされた木星大気の雲対流構造
- B305 森川 靖大（北大院理）可変性と可読性を考慮した大気大循環モデルの開発と湿潤惑星の数値実験
- B306 石渡 正樹（北大院地球環境）同期回転惑星の大気大循環の数値計算
- B307 田島 成将（九大院理）積雲による音波発生の数値モデリング
- B308 杉山 昌広（MIT）弱温度傾度である水蒸気モード存在の一般条件
- B309 竹見 哲也（京大防災研）乾燥地における乾燥・湿潤対流とダスト輸送
- B310 柳澤 孝寿（海洋研究開発機構 IFREE）液体金属による熱対流の乱流状態：外核の流れを理解するために

※B309 および B310 は招待講演(質疑込み18分)、その他は一般講演(質疑込み12分)

大会第3日〔10月16日（火）〕 9:15～11:30 口頭発表

C 会場

相互作用

座長：見延 庄士郎（北大院理）

- C301 岡島 秀樹（FRCGC）アジアモンスーンと山岳効果---大気海洋相互作用を考慮して---
- C302 高玉 孝平（北大院理）北太平洋高解像度領域大気モデルを用いた大気の経年変動に対するSSTフロントの寄与の解明I —実験設定と高解像度SSTへの応答—
- C303 田口 文明（地球シミュレータ）黒潮続流域の海面水温前線に対する大気境界層の応答:領域大気モデル実験
- C304 中田 隆（東大海洋研）熱帯西部太平洋域の降水雲にともなって増加する海面熱フラックスの研究
- C305 山内 明子（伊豆海洋科学研）分散分析による層別海水温の変動解析 一年最低水温の近傍を用いた温暖化評価法—
- C306 猪上 淳（IORGC）エアロゾンデを利用した夏季北極海の大気・海氷観測
- C307 猪上 淳（IORGC）2007年夏季北極海カナダ海盆における海氷後退の特徴
- C308 中野渡 拓也（北大低温研）オホーツク海の最大海氷面積を決定する要因
- C309 橋本 孝治（アルファ水工コンサルタンツ）2006年10月の温帯低気圧によるエクマン輸送に起因した特異な高潮事例
- C310 平沢 尚彦（極地研）昭和基地近傍の南極氷床上地点における地上気象に見られる日変化
- C311 川瀬 宏明（FRCGC）黄河の大規模灌漑が夏季の積雲の発生に及ぼす影響
- C312 片岡 文恵（RESTEC）2004年台風23号の広戸風による岡山県北の倒木被害について — 衛星データを用いた倒木被害分布と気象モデルの照合解析 —
- C313 大塚 清敏（大林組技術研究所）2004年台風23号の広戸風による岡山県北の倒木被害について — 計算流体モデルによる風速分布と倒木分布の比較 —

大会第3日 [ 10月16日 (火) ] 9:15~11:30 口頭発表

## D 会場

### 中層大気

座長 : 西井 和晃 (東大院理)

- D301 鈴木 順子 (京大生存研) ERA-40データをもちいた熱帯対流圏界面付近にみられる赤道ケルビン波と背景風の関係
- D302 河谷 芳雄 (FRCGC) 赤道成層圏QBOに於ける赤道波と内部重力波の役割 Part I
- D303 伊藤 耕介 (京大院理) 赤道準二年周期振動 (QBO)と成層圏界面の温度変化との交互作用としての北半球冬季成層圏循環の変動
- D304 富川 喜弘 (極地研) 高解像度気候モデルを用いた冬半球亜熱帯成層圏界面に現れる気温極大の解析
- D305 渡辺 真吾 (FRCGC) T213L256大気大循環モデルを用いた内部重力波と中層大気大循環の研究
- D306 佐藤 薫 (東大院理) 成層圏極渦から発生する重力波
- D307 西井 和晃 (東大院理) 成層圏からの下向き局所的波束伝播と基本場西風の気候分布と経年変動
- D308 柴田 清孝 (気象研) 気象研究所大気大循環モデルにおける突然昇温について (気候値ランと強制カランの大昇温の比較)
- D309 永柄 恵 (九大院理) 成層圏突然昇温に伴う子午面循環について
- D310 小寺 邦彦 (名大院環境) 熱帯積雲対流活動に対する成層圏突然昇温現象の影響 : 2001年12月の突然昇温予報実験結果から
- D311 一丸 知子 (九大院理) 大規模突然昇温に伴うプラネタリー波の予測可能性
- D312 向川 均 (京大防災研) 対流圏北半球環状モードの予測可能性変動と成層圏循環との関連性



# 大会第3日〔10月16日（火）〕 13:30～17:00 口頭発表

## A 会場

### スペシャルセッション「静止衛星観測Ⅱ：静止衛星リモートセンシング観測の新展開」

座長：早坂 忠裕（地球研）

- A351 早坂 忠裕（地球研）次世代の静止衛星観測に期待するもの
- A352 山本 宗尚（千葉大CEReS）4大学連携VLにおける千葉大学の取り組み -全球静止気象衛星データセットの概要と必要性-
- A353 竹中 栄晶（千葉大CEReS）4大学連携VLにおける千葉大学の取り組み -静止気象衛星による放射収支の推定と大気放射プロダクトの作成-

座長：高橋 暢宏（NICT）

- A354 高菦 縁（東大気候システム）次世代静止衛星による雲・降水・雷観測への期待 ---熱帯気象の立場から---
- A355 佐藤 正樹（東大気候システム）全球雲解像モデルNICAMと静止気象衛星観測の連携
- A356 Mendrok, Jana（NICT）Feasibility of Ice Cloud Remote Sensing in the Microwave through Mid-Infrared Spectral Region
- A357 青梨 和正（気象研）静止衛星搭載マイクロ波放射計データからの降水情報の利用可能性について
- A358 牛尾 知雄（阪大院工）静止気象衛星搭載赤外放射計と低軌道衛星搭載マイクロ波放射計データを用いた高分解能全球降水マップの作成
- A359 今須良一（東大気候システム）人工衛星からの中間～遠赤外スペクトル観測の意義
- A360 落合 啓（NICT）静止衛星からのマイクロ波・テラヘルツ波放射観測の可能性
- A361 笠井 康子（NICT）静止衛星リモートセンシング観測フィージビリティ研究

座長：秋元 肇（FRCGC）

- A362 秋元 肇（FRCGC）静止大気環境観測衛星の実現へ向けて
- A363 近藤 豊（東大先端研）静止衛星による大気化学観測の有効性
- A364 入江 仁士（FRCGC）衛星・地上観測の複合利用による大気汚染物質の時空間分布の研究－静止衛星観測に期待すること－
- A365 川上 修司（JAXA/EORC）静止衛星による環境観測および災害監視の計画について
- A366 滝川 雅之（FRCGC）大気環境衛星と化学輸送モデル
- A367 北 和之（茨城大理）静止衛星による対流圏オゾンとその前駆気体の観測

座長：中澤 哲夫（気象研） / 笠井 康子（NICT）

総合討論

※A354およびA362はキーノート講演(質疑込み17分). A355, A357, A363はコメンテータ講演(質疑込み13分).  
その他は一般講演(質疑込み13分), ただしA360, A361は質疑込み5分.

大会第3日〔10月16日（火）〕 13:30～17:00 口頭発表

B 会場

スペシャルセッション「熱帯低気圧の力学研究・モデリング・予報の未来：大山先生・栗原先生の業績を記念して」

座長：上野 充（気象研）

B351 山岬 正紀（FRCGC）熱帯低気圧の研究における故大山勝通氏の業績を振り返る

B352 吉岡真由美（環境研）熱帯低気圧の研究における故栗原宜夫氏の業績を振り返る

座長：坪木 和久（名大地球水循環）

B353 上野 充（気象研）数値モデルで得られた台風中心軸の傾斜と気温変化

B354 村田 昭彦（気象研）積雲対流パラメタリゼーションにおける雲量の影響

B355 沢田 雅洋（東北大院理）氷相過程が台風の発達に及ぼす影響

B356 中野 満寿男（AESTO/気象研）鉛直シア一場における冷却による渦生成

B357 榎本 剛（地球シミュレータ）竜巻をもたらした台風2006年第13号周辺の環境場

B358 和田 章義（気象研）非静力学台風モデルによる2004年台風10号の予測実験

B359 吉野 純（岐阜大工）渦位逆変換法による可能最大高潮評価手法に関する検討

座長：別所 康太郎（気象研）

B360 山田 広幸（IORGC）カロリン諸島における熱帯低気圧の発生過程に関する観測研究

B361 斉藤 貞夫（JAXA/EORC）Aqua衛星搭載のマイクロ波放射計AMSR-Eが観測した台風の風速

B362 星野 俊介（気象研）台風の温帯低気圧化時に見られるAMSU気温データの特徴

B363 中野 藤之（阪大院工）台風において雷を発生させる雲の雲物理と電荷分布

B364 北畠 尚子（気象研）日本本土に上陸した台風の構造

座長：筒井 純一（電中研）

B365 筒井 純一（電中研）JRA-25長期再解析データを用いた熱帯低気圧の気候学的研究：日本に接近・上陸する台風の構造変化

B366 柳瀬 亘（東大気候システム）熱帯低気圧の全球高解像シミュレーション：7月気候値実験

B367 Pham, Minh Tuan（名大院工）非経験的で高速な台風抽出手法の提案

B368 久保田 尚之（IORGC）西部北太平洋域での降水量の季節変化、年々変動に対する熱帯低気圧のインパクト

※B351 および B352 は追悼記念講演(質疑込み20分)、その他は一般講演(質疑込み10分)

# 大会第3日 [ 10月16日 (火) ] 13:30~17:00 口頭発表

## C 会場

### 大気放射

座長 : 小林 隆久 (気象研)

- C351 鳥海 貢 (千葉大院理) シャドウバンドを用いて観測した光合成有効放射量 (PAR)の時系列変化
- C352 青木 輝夫 (気象研) 積雪アルベド物理モデルの地上観測データによる検証
- C353 山崎 明宏 (気象研) エアロゾル散乱係数の湿度特性の測定 (2)
- C354 工藤 玲 (気象研) Broad-Band放射計による可視・近赤外域の直達・散乱光からのエアロゾル光学特性の推定
- C355 岩渕 弘信 (FRCGC) 雲の3次元放射効果 (1): モデル開発と比較検証
- C356 石川 裕彦 (京大防災研) MTSAT中間赤外 (3.7  $\mu$  m帯) データを用いた雲反射率の算出
- C357 小林 隆久 (気象研) 雲粒臨界半径の衛星による観測
- C358 Desbiens, Raphaël (環境研) Optimization of GOSAT Atmospheric VMR Profile Retrieval Using Empirical Orthogonal Functions Representation

### 観測手法

座長 : 永井 智広 (気象研)

- C361 花房 龍男 (英弘精機) フラット・アレイ型ソーダの野外観測について
- C362 清水 健作 (明星電気) GPSラジオゾンデを使った成層圏の撮影と観測機器回収
- C363 石井 昌憲 (NICT) CO<sub>2</sub>濃度計測用コヒーレント差分吸収ライダーの開発②
- C364 阿保 真 (首都大システムデザイン) 1.6  $\mu$  m帯を用いた二酸化炭素鉛直分布観測用DIAL (1) -送信部の開発-
- C365 永井 智広 (気象研) 1.6  $\mu$  m帯を用いた二酸化炭素鉛直分布観測用DIAL (2) -受信部の開発-
- C366 真木 雅之 (防災科研) 偏波間位相差を用いた反射因子と反射因子差の降雨減衰補正
- C367 植松 明久 (NICT) EarthCARE 衛星搭載雲レーダによって観測されるドップラー速度誤差の評価
- C368 大野 裕一 (NICT) CloudSat雲レーダのSPIDER観測による検証 (2)
- C369 萩原 雄一朗 (東北大院理) CloudSat/CALIPSO衛星搭載雲レーダとライダーによるMODIS水雲判別結果の検証
- C370 藤田 実季子 (IORGC) 船上観測におけるGPS可降水量の精度評価
- C371 米山 邦夫 (IORGC) MISMO観測期間中における海面水温測定

# 大会第3日〔10月16日（火）〕 13:30～17:00 口頭発表

## D 会場

### 気候システムⅢ

座長：水野 量（気象大）

- D351 市橋 正生（所属なし）TRMM/LISデータを用いた日本付近における地震日・雷日の統計研究
- D352 木村 詞明（北大低温研）人工衛星データを用いたオホーツク海の海氷移流軌跡の解析
- D353 金田 幸恵（AESTO/気象研）水平解像度5km非静力学モデルによる領域温暖化予測実験：雲タイプ別分布と降水特性の変質～雲システム分類の試み
- D354 吉兼 隆生（FRCGC）擬似温暖化手法を用いた地球温暖化による日本の冬期積雪の影響評価
- D355 倉橋 永（気象庁数値予報）20km地域気候モデルによる冬季降水の再現性と温暖化予測
- D356 初鹿 宏壮（富山県環境科学センター）富山県における温暖化調査研究 - 県内各地の降雪量及び日数の変化傾向 -
- D357 鈴木 博人（JR東日本研究開発センター防災研究所）東北から北陸の日本海側地域の年最大積雪深と気温の関係
- D358 福岡 義隆（立正大地球環境科学）関東地方における南岸低気圧通過時の内陸寒気と降雪に関する研究
- D359 中村 哲（東海大地環）東京に積雪をもたらす大規模場とその長期変動
- D360 中井 専人（防災科研）暖冬年が降水量データに与える影響
- D361 西森 基貴（農環研）温暖化影響評価のためのGCM出力循環場からの日射量推定手法の開発—GCMのバイアス補正と統計的ダウンスケーリング—

座長：田 少奮（日大文理）

- D362 山崎 信雄（気象大）日本付近における地上気圧の長期傾向と強い降水との関連
- D363 水野 量（気象大）日降水量極値の経年変化
- D364 藤部 文昭（気象研）区内観測による日降水量データのデジタル化と降水長期変動解析への利用
- D365 中塚 武（北大低温研）樹木年輪の酸素同位体比から復元した過去276年間の日本中部の梅雨前線活動の年々変動—低・高緯度の大気循環場とのテレコネクション解析—
- D366 藤部 文昭（気象研）早明浦ダムの貯水量と降水量の変動特性
- D367 盛 宣誠（岡山大教育）盛夏から秋雨への移行期における日本付近の降水と台風
- D368 馬淵 和雄（気象研）BAIM2を導入した地域気候モデルにより再現された陸域植生LAIの年々変動と衛星NDVIによる検証
- D369 徐 健青（FRCGC）パン蒸発計蒸発量からみたチベット高原の湿潤度の変化
- D370 谷田貝 亜紀代（地球研）中国北西部Qiyi氷河周辺の水蒸気輸送 — 水蒸気の同位体解析ケーススタディー（2） —
- D371 池田 祥一郎（岡山大院自然）春から梅雨期の中国大陸上の前線帯北方の水蒸気量の季節的变化と大規模場について
- D372 田 少奮（日大文理）黄砂飛来頻度と中国北部のダストストーム発生頻度の変動との関係